



AMEYAMA DENSHIN PRESENTS

雨山電信



ちようどいま
鎧の中のこいつらが
暴れだした
ところなのです

母上を病から
お救いするため
魔女と契約を交わした
この呪いの鎧がつつ

クワッ
グワッ

おお...っ っ
また
腔で動いて...っ

クイン
コク

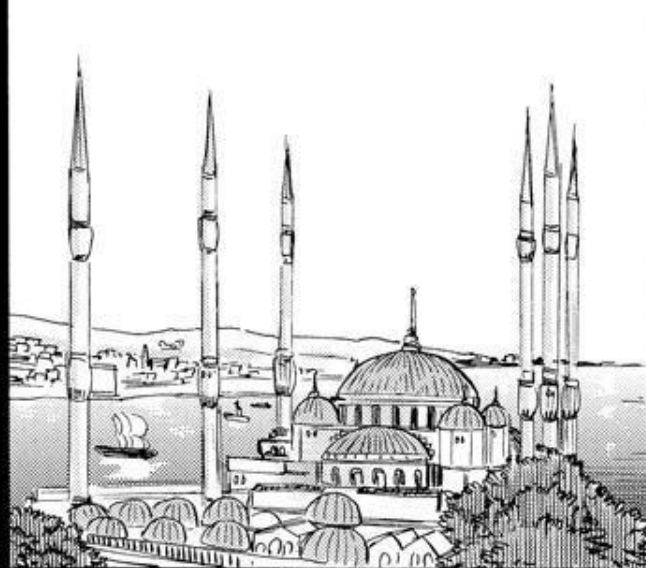
耐えろ...っ
耐えるのだ
セシリア...っ!



「母上の病を
治療するためには
魔法の鎧を着て
千回イクこと」?

もじゃ

もじゃ



これを着れば
よいのか?

あ!
ちよつと……!

ガミヤ



イクとはなんだ
いったい何処へ
行けばよいのだ

あらあら
これはとんだ
未通女ちゃん
の騎士様ね?



ええ いいわよ
貴方に騎士の誇りが
あるように
私にも魔術師の
プライドがある

あら驚いた
すごい精神力ね

その魔力とやらが
集まったら…
必ず…母上の
治療をすると…!!

約束…
しろ…!

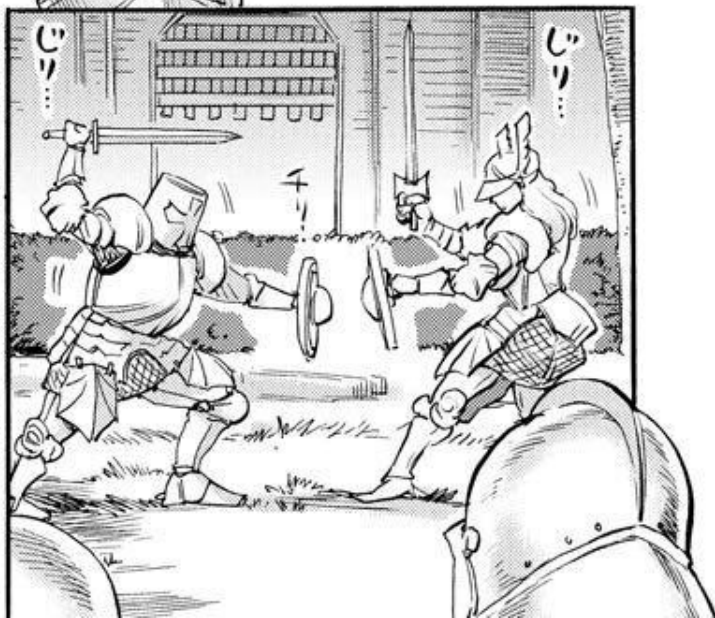
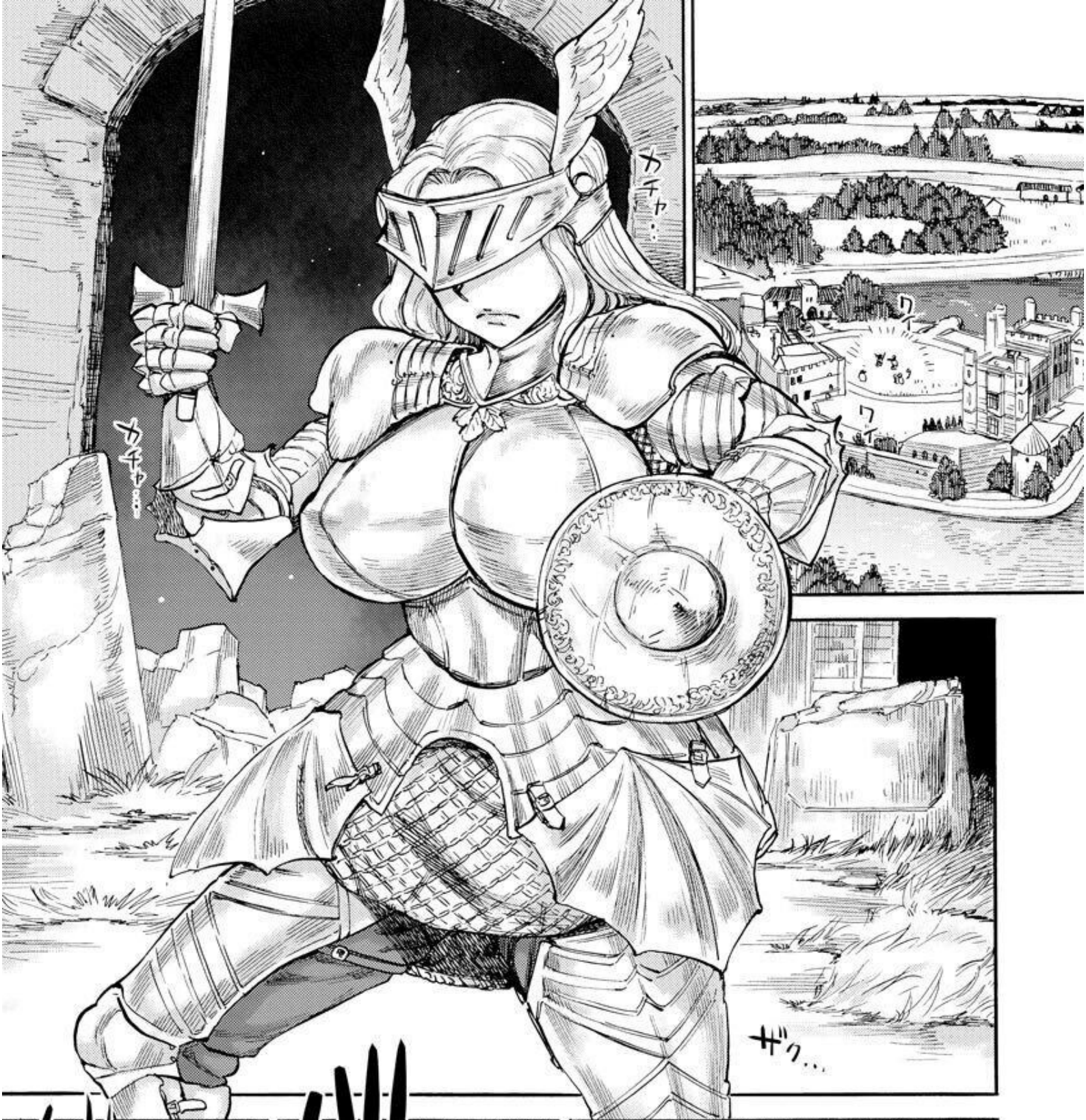
ほら♡
肛門のほうにも
入っていくわよ♡

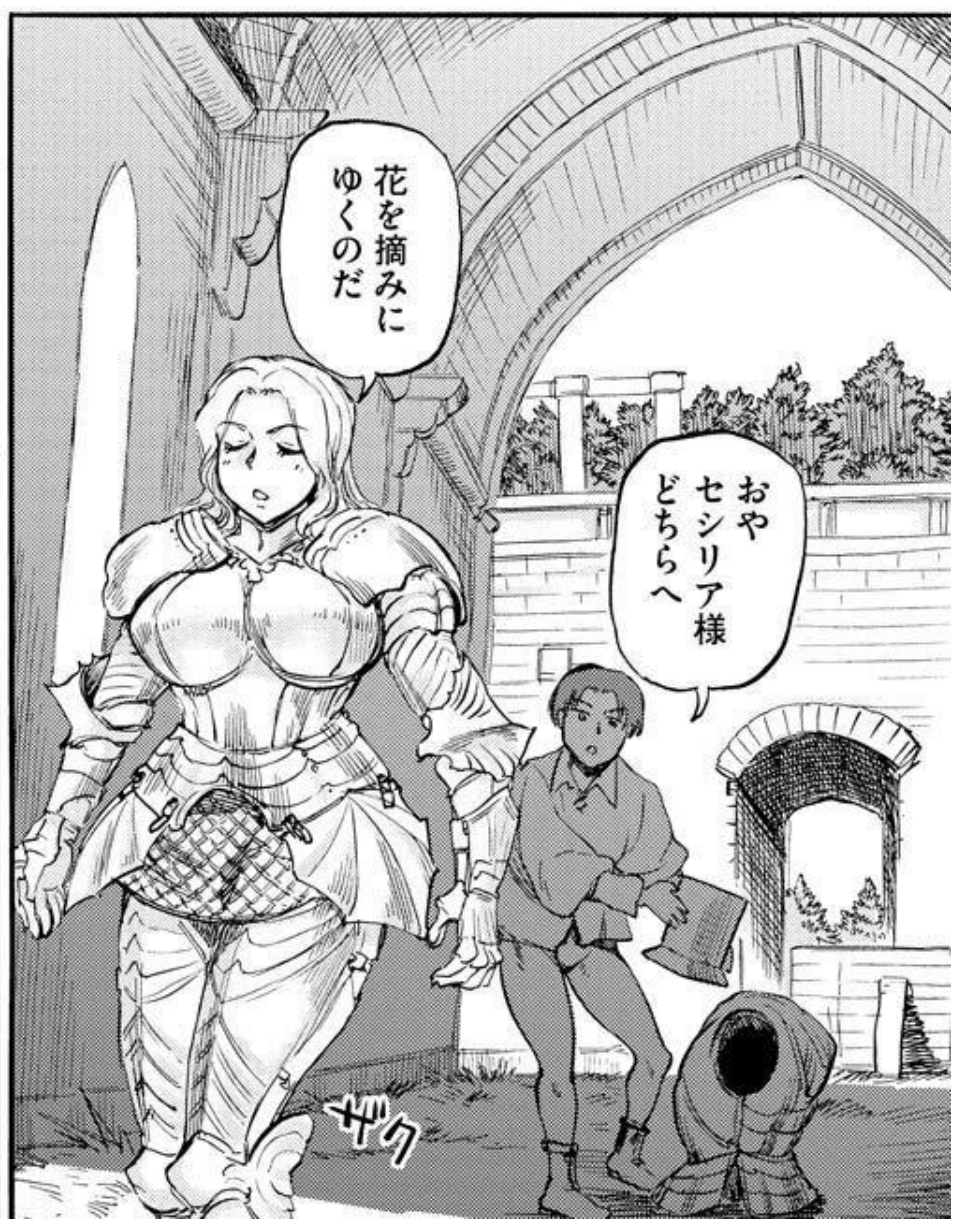
アクメ回数
2/1000回

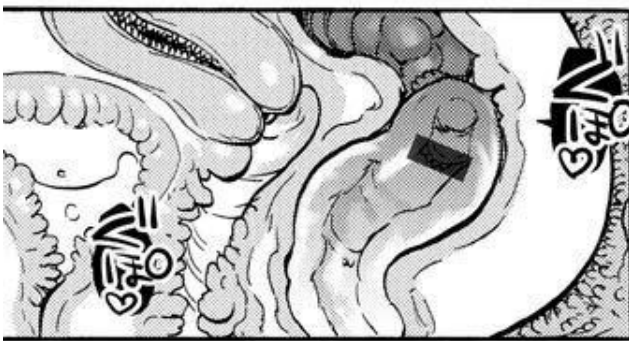
今日はそのまま
しばらくそこの
のたうち
回ってなさい♡

100回ぐらいアクメ
できたところで
大人しく
させてあげるわ
その子たち♡

3/1000回
4/1000回







恥ずかしいとか
そういうことを
言っている
場合ではない

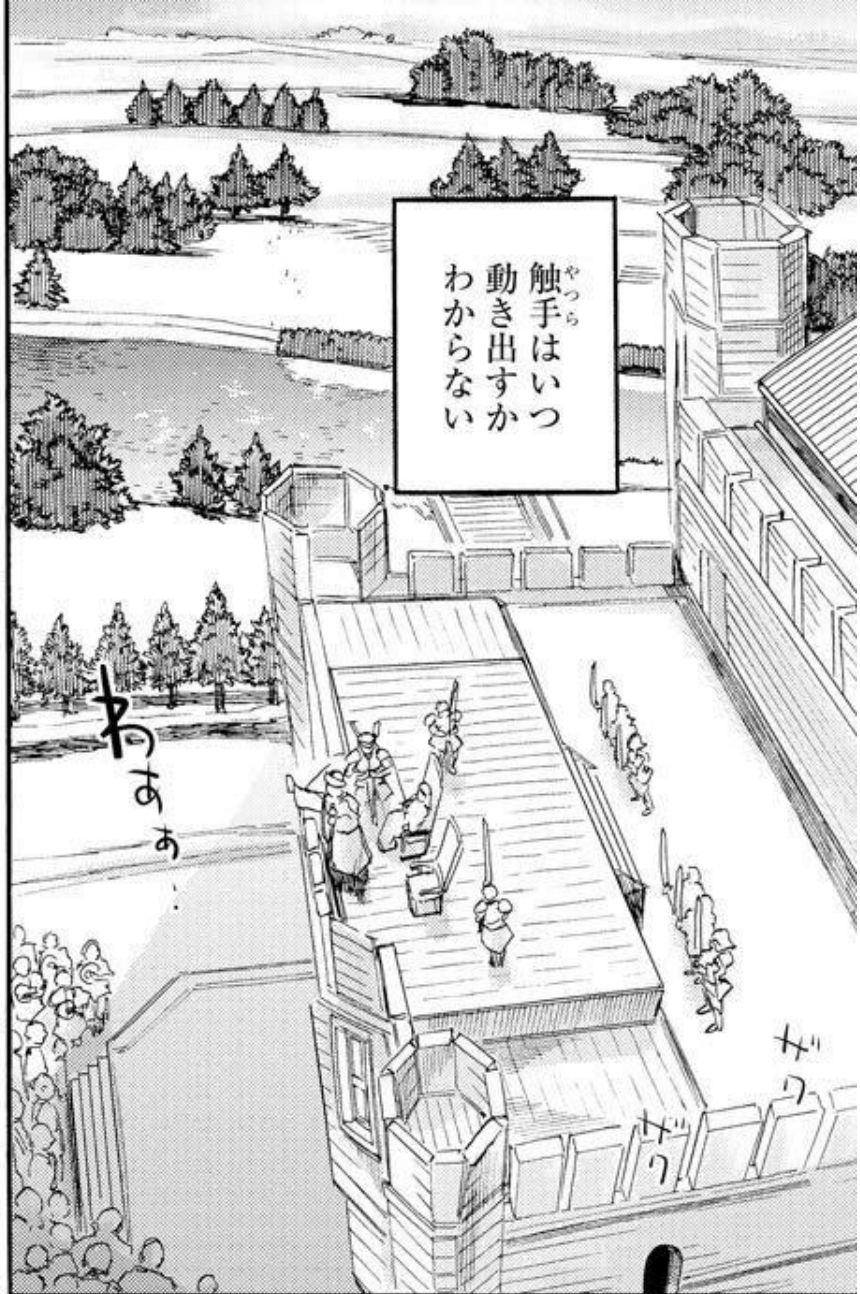
もとより
戦場では
垂れ流し
なのだ

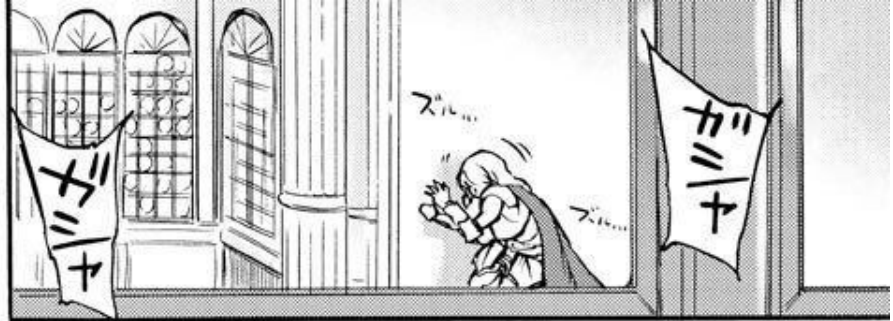


あゝ吸われるっ
お腹の中の
きたないウンチ
吸い出されるうっ

おっ乙女の
尻穴に
こんなものをっ

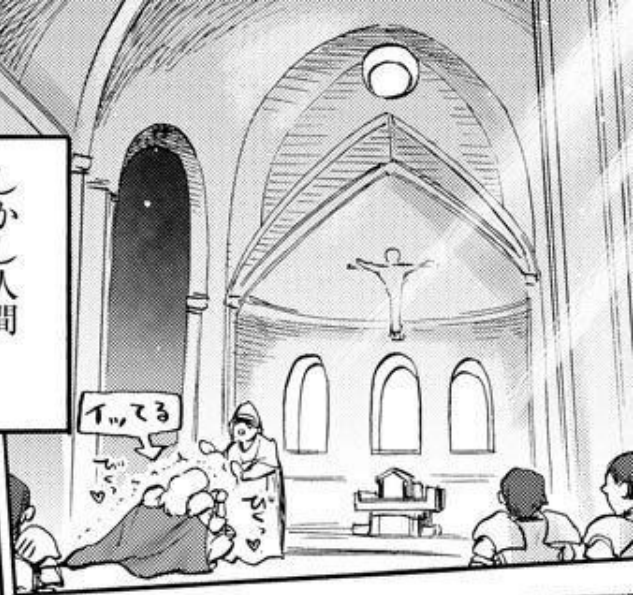








しかし人間
慣れとは本当に
恐ろしいもので



私の肉体は
少しずつ
「イク」ことを
受け入れつつ
あった



セシリア
さまーっ

いや—
それどころか—

だんだん
人前でイクこと
それ自体が癖に
なりつつあるっ♡

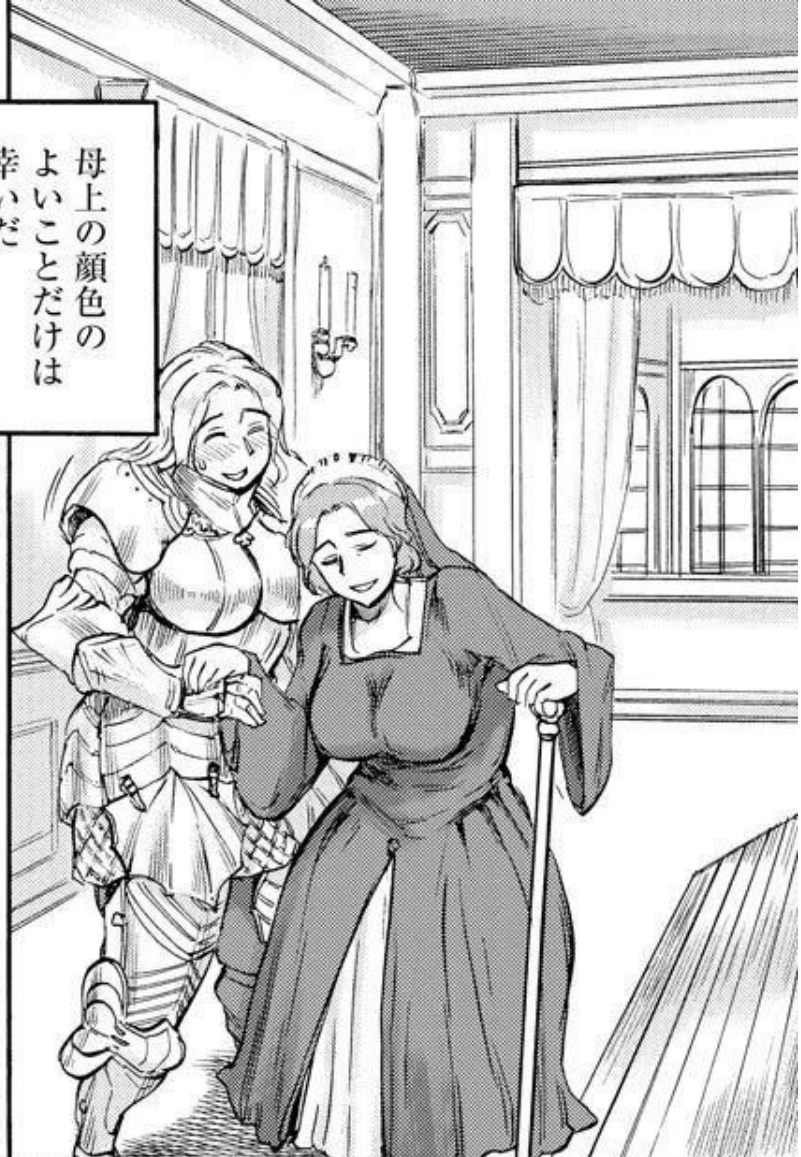
民の尊敬を
一身に集めながら
こうして淫らな快楽に
耽っていることなど
誰も知らぬのだっ♡



母上の顔色の
よいことだけは
幸いだ



一時は医者も
さじを投げる
ほどだったが
ぐんぐんよくなって
いらっしやる



乳房が
きつい…
重い…

鎧を着た時には
だいぶ隙間が
あったはず
だったのだが…



そしてまた
夜がくる

眠ることも
目覚めることも
できぬまま――
グツグツと
煮詰めるように
触手たちに弄ばれる

これも触手の
呪いだろうか
夜がふけてもまったく
眠くならない

再び朝日が
光を
取り戻しても

終わらない

ひえ〜
さすが騎士団長
根性が違うわ

宮廷画家に頼まれて
もう半日も
あの体勢だってよ

どんだん…
イクときの
きもちいいのが
ふかくおおきく
なっていく…

だれ…か…
だれか…
たすけて



アクメ回数
972/1000回

これ…あと…
なん…かい…?
わかんない…
あたま…ぼうつと
なっ…て…♡

イ…つたま…ま…♡
おりて…こないで…
また…つぎの…
「イク」が…あ♡

974/1000回

973/1000回

996/1000回

もう
わかんない
なにも

おわって
はや——

997/1000回

998/1000回





母も

すでに貴方と
同じ身体
なのでから♡

おん

みう...

あぁあぁあぁ...

どんだけ
アクメしたら
こんなに
溜まるのよ？

うわエグっ
なにこの量？



はーい
おはよう♡

さあ魔力の
溜まり具合は
どうかしら♡

ポウシ

約束どおり
病気はちゃんと
治療してあげたわよ
病気はね

50年でも
100年でも
そのままだり
そうしてなさいな

親子仲良く
末永く

ああ..
お母様..

神様..
だめ..
ごめん..

ああ..
セシリア..
セシリア..

さもない..
もう何も
考えられない..

私のために
いっぱい魔力を
生み出して
ちょうだいね♡

The End...